

2017年度 高校生交流事業
参加校募集要項

I 高校生交流事業への参加校募集について

公益財団法人イオン1%クラブ（以下、当財団）は、2017年度、以下の高校生交流事業を開催するにあたり、各事業への参加高校を募集します。

A:日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業

B:日本 アセアン ティーンエイジ アンバサダー事業

C:アジアユースリーダーズ事業

上記の A～C コースに参加を希望する高校は、**2017年1月13日（金）**

までに別紙「同意・申込書」をFAX（043-212-6461）にてご提出下さい。

※交流国の政治・社会的事情により、プログラムの中止または内容が一部変更となる場合があります。予めご了承ください。

II 各交流事業の詳細及び参加条件について

1 事業の目的

ア) 次代を担う若者たちの交流を政府を交えて実施することで、各国との友好親善の促進に努める機会を提供する。

イ) グローバルな環境での人的・文化交流等を通じて、価値観の多様性について学ぶ機会を提供する。

ウ) ティーンエイジ アンバサダー事業（A 及び B 事業）：表敬訪問、交流活動、文化体験、歴史探訪を通じて互いの理解を深め、価値観の多様性を理解する。

コース A:中国との交流

コース B:カンボジア或いはインドネシアとの交流

アジアユースリーダーズ事業：アジア 4ヶ国以上の高校生が一堂に会し、プログラム開催地の社会問題などの解決策について英語でディスカッションし、現地政府に提案する。

※プログラムの様子は、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.aeon.info/lp/international/index.html>

2 各交流事業の詳細及び参加条件

ア) コースA:日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業

項目	招聘 (日本での交流プログラム)	派遣 (中国での交流プログラム)
時間	2017年7月中旬	2017年10月中旬
基本的なスケジュール(案)	(月) 相手国来日、リエンテーション、他 時間があれば視察活動 (火水木) 歓迎会、文化体験、歴史理解活動及 表敬訪問 (金) 授業体験、夕刻よりホームステイ (土) ホームステイ (日) ホームステイ、夕刻よりフェアウェルパーティー (月) 相手国帰国(日本発)	(月) 出国、相手国着、リエンテーション、 ジェトロ訪問、他 (火水木) 歓迎会、文化体験、歴史理解活動及び 表敬訪問 (金) 授業体験、夕刻よりホームステイ (土) ホームステイ (日) ホームステイ、夕刻よりフェアウェルパーティー (月) 帰国(日本着)
申込人数・参加者の資格条件	<ul style="list-style-type: none"> • 1校当たりの参加申込人数は、10名、20名、30名のいずれか。ただし、全体申込数が予定人数を越えた場合、調整により希望人数を下回る場合があります。 • 申込条件： <ul style="list-style-type: none"> + 男女同数とし、国籍は日本を原則とする。(但し、外国籍生徒で、日本生まれ日本育ちであり、日本語のコミュニケーションができる生徒は日本国籍とみなす。) + 英語でのコミュニケーション能力を有する生徒。 + 両国での交流終了までの間、母国を代表する「大使」であることを自覚し、社会的良識・規範をふまえた上行動できる者。 + 先生2名が同行(但し体調不良者のケアの面で女性教諭が1名以上)。 + コースにおける招聘、派遣の参加者は同一人物とする。 + 貴校での授業体験日を1日設定する。(開催週の金曜日が望ましい) <p>(ツアー中に撮った写真や動画等を当財団が発信する媒体に使わせて頂くことがあります。)</p>	
費用負担	当財団負担 招聘 1) プログラム上の「移動、宿泊、食事、体験、視察」に伴う費用 2) 事前説明会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用 派遣 1) 日本出発空港から日本帰着空港までのプログラム上の「移動、宿泊、食事、体験、視察」に伴う費用 2) 事前説明会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用 その他 報告会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用	
	学校側負担 招聘 1) 事前説明会での会場費、会場設営機材費 2) 授業体験日における費用(昼食代含む) 3) 招聘プログラムで発生する学校側からのプレゼント費用 派遣 1) 事前説明会での会場費、会場設営機材費 2) 派遣先での御礼・記念品に関する費用 その他 報告会の実施における「会場費、会場設営機材」の費用	
	参加生徒負担 招聘 1) ホームステイ期間中の費用 2) 交流ペア、ホームステイ受入れ家庭へのお土産費用 3) 電話代、その他個人的費用 派遣 1) パスポート、ビザ取得、保険加入に関する費用 2) 日本出発地空港までの移動(宿泊を含む)に関する費用 3) 土産代、電話代、その他個人的費用 4) 事前説明会参加に関する費用 その他 報告会への参加に関する費用(交通費、他)	

イ) コースB:日本 アセアン ティーンエイジ アンバサダー事業

※カンボジアかインドネシアのいずれか一つを選択して下さい。

項目	招聘 (日本での交流プログラム)		派遣 (海外での交流プログラム)	
時間	カンボジア との交流：2017年9月中旬		カンボジア との交流：2017年11月下旬	
	インドネシア との交流：2018年1月下旬		インドネシア との交流：2018年3月上旬	
基本的なスケジュール(案)	(月)	相手国来日、オリエンテーション、他 時間があれば視察活動	(月)	出国、相手国着、オリエンテーション、 ジェットロ訪問、他
	(火水木)	歓迎会、文化体験、歴史理解活動及び 表敬訪問	(火水木)	歓迎会、文化体験、歴史理解活動及び 表敬訪問
	(金)	授業体験、夕刻よりホームステイ	(金)	授業体験、夕刻よりホームステイ
	(土)	ホームステイ	(土)	ホームステイ
	(日)	ホームステイ、夕刻よりフェアウェルパーティー	(日)	ホームステイ、夕刻よりフェアウェルパーティー
	(月)	相手国帰国(日本発)	(月)	帰国(日本着)
申込人数・参加者の資格条件	<ul style="list-style-type: none"> • 1校当たりの参加申込人数は、10名以上20名以内の偶数人数。 • 申込条件： <ul style="list-style-type: none"> + 男女同数とし、国籍は日本を原則とする。(但し、外国籍生徒で、日本生まれ日本育ちであり、日本語のコミュニケーションができる生徒は日本国籍とみなす。) + 英語でのコミュニケーション能力を有する生徒。 + 両国での交流終了までの間、母国を代表する「大使」であることを自覚し、社会的良識・規範をふまえた上行動できる者。 + 先生2名が同行(但し体調不良者のケアの面で女性教諭が1名以上。) + コースにおける招聘、派遣の参加者は同一人物とする。 + 貴校での授業体験日を1日設定する。(開催週の金曜日が望ましい) <p>(ツアー中に撮った写真や動画等を当財団が発信する媒体に使わせて頂くことがあります。)</p>			
費用負担	当財団負担	<p>招聘 1) プログラム上の「移動、宿泊、食事、体験、視察」に伴う費用 2) 事前説明会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用</p> <p>派遣 1) 日本出発空港から日本帰着空港までのプログラム上の「移動、宿泊、食事、体験、視察」に伴う費用 2) 事前説明会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用</p> <p>その他 報告会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用</p>		
	学校側負担	<p>招聘 1) 事前説明会での会場費、会場設営機材費 2) 授業体験日における費用(昼食代を含む) 3) 招聘プログラムで発生する学校側からのプレゼント費用</p> <p>派遣 1) 事前説明会での会場費、会場設営機材費 2) 派遣先での御礼・記念品に関する費用</p> <p>その他 報告会の実施における「会場費、会場設営機材」の費用</p>		
	参加生徒負担	<p>招聘 1) ホームステイ期間中の費用 2) 土産代、電話代、その他個人的費用</p> <p>派遣 1) パスポート、ビザ取得、保険加入に関する費用 2) 日本出発地空港までの移動(宿泊を含む)に関する費用 3) 土産代、電話代、その他個人的費用 4) 事前説明会参加に関する費用</p> <p>その他 報告会への参加に関する費用(交通費、他)</p>		

ウ) コースC:アジアユースリーダーズ事業

項目	海外プログラム 又は日本プログラム	
時間	2017年8月下旬	
基本的 スケジュール (案)	1日目 オリエンテーション、歓迎会 2日目 アイスブレイキング活動 3日目 現地専門家によるレクチャー 4日目 テーマに関する現状視察及び施設等の訪問 5日目 チームにてディスカッションと提案の発表準備 6日目 チームにてディスカッションと提案の発表準備 7日目 チームにて政府への提案発表、表彰式、フェアウェルパーティー	
申し込み人数 他	<ul style="list-style-type: none"> 1校当たり5名以上10名以内で、5名単位とするが、男女比率は問わず。生徒の国籍は日本を原則とする。(但し、外国籍生徒で、日本生まれ日本育ちであり、日本語のコミュニケーションができる生徒は日本国籍とみなす。) 先生1名、体調不良者のケアの面から女性教諭が望ましい。 生徒は英語でのディスカッションが可能なこと。(高い英語能力が必要です。) (ツアー中に撮った写真や動画等を当財団が発信する媒体に使わせて頂くことがあります。)	
費用 負担	当財団 負担	1) 日本出発空港から日本帰着空港までのプログラム上の「移動、宿泊、食事、体験、視察」に伴う費用 2) 事前説明会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用 その他 報告会の実施における「会場費、会場設営機材」以外の費用
	学校側 負担	事前説明会での会場費、会場設営機材費
	参加 生徒 負担	1) パスポート、ビザ取得、保険加入に関する費用 2) 日本出発地空港までの移動(宿泊を含む)に関する費用 3) 土産代、電話代、その他個人的費用 4) 事前説明会参加に関する費用 その他 報告会への参加に関する費用(交通費、他)

III 選考結果

選考は第3者委員会によって行い、結果については、2017年2月20日(月)までに、Eメールにてお知らせいたします。

IV 学校側の役割(参加高校として選ばれた場合)

ア) 指定期日までに参加者固有名詞を確定し、その参加者のアプリケーションフォーム、パスポートコピーを提出すること。(指定期日は実施3カ月前が目処)。

コースA: 日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業 2017年4月中下旬

コースB: 日本 アセアン ティーンエイジ アンバサダー事業

カンボジア : 2017年6月中下旬

インドネシア : 2017年10月中下旬

コースC: アジアユースリーダーズ事業 2017年5月中下旬

イ) **コース A・B:**

- ① 招聘・派遣プログラムの実施1ヶ月前までに、当財団事務局と相談の上、事前説明会の日程を決定すること。なお、事前説明会はプログラム開始2週間前までに実施すること。
- ② 招聘プログラムにおいては、表敬訪問活動に生徒及び引率先生（2名）を同行させること。（費用はイオン1%クラブ負担。）
- ③ 招聘プログラムにおいては、授業体験日に学校での歓迎会を実施すること。
- ④ 招聘プログラムにおいては、授業はペア同士で受けること。通常授業、特別編成授業のいずれも可能だが、できれば日本らしさを感じられる授業も組み込んでいただきたい。
- ⑤ 派遣プログラムにおいては、出発日1週間前より、参加生徒の体温を記録し、出発日に当財団事務局に提出すること。
- ⑥ 招聘・派遣プログラムにおいて、参加生徒によるパフォーマンス（5分以内）を準備すること。（歓迎会やフェアウェルパーティなどで披露。）

コース C:

- ① プログラムの実施1ヶ月前までに、当財団事務局と相談の上、事前説明会の日程を決定すること。なお、事前説明会はプログラム開始2週間前までに実施すること。
- ② 出発日1週間前より、参加生徒の体温を記録し、出発日に当財団事務局に提出すること。
- ③ 参加生徒によるパフォーマンス（5分以内）を準備すること。（歓迎会やフェアウェルパーティなどで披露。）

ウ) その他

- ①参加に伴い学校での授業を欠席する場合は、「公休」扱いとすること。
- ②参加生徒へ本事業に参加することの意義をよく理解させ、事業に向けての事前指導に万全を期すと共に、本事業の意味合いと、とるべき行動上の注意点を徹底すること。日本と相手国での滞在中はもとより、事前説明会からプログラム終了までが「日本代表」であることを自覚するよう促すこと。この間に高校及び高校生として好ましくない事態が発生した場合は、下記の措置とする。
 - 1) 次年度からのエントリー不可
 - 2) 当該年度の参加取りやめ
- ③引率先生は、期間中、参加生徒の健康管理、生活指導全般を担当し、プログラムの実施に支障のないように図ること。

V **本件に関する問い合わせ**

公益財団法人イオン1%クラブ

〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-5-1

TEL : 043-212-6023

Email : lp@aeon.info

以上

公益財団法人イオン1%クラブ
2017年度 ティーンエイジアンバサダー事業 同意・エントリーシート
(FAX 043-212-6461)

※A,B,Cコースの内、複数選択が可能です。応募したいコースごとに、それぞれの同意・エントリーシートをご提出ください。

学校名							
校長名	(ふりがな)						
住所	〒 -						
代表電話番号			FAX番号				
参加プログラム (いずれかに○)	A: 日本 中国 ティーンエイジ・アンバサダー事業 ()			参加希望人数			
	B: 日本 アセアン ティーンエイジ・アンバサダー事業 ◆カンボジアとの交流 ()			男	()名		
				◆インドネシアとの交流 ()	女 ()名		
	C: アジアユースリーダーズ						
担当者名	(ふりがな)				所属部署		
担当者直通電話番号			Eメールアドレス	@			
学校概要	全校生徒数 ()人 男子 ()人 女子 ()人 () 学期制						
高校における生徒の国際交流への参加の必要性についての貴校の考え							
このプログラムで、生徒に期待すること							
参加に向けた準備事項							
両国での交流修了後のフォロー、PR等の計画							
直近2年間の弊財団事業以外の海外の高校との交流実績	()年 ()月	(交流国)	(交流人数)	(招聘、派遣いずれか○)	(ホームステイ)		
	①			招聘	派遣	有り	無し
	②			招聘	派遣	有り	無し
	③			招聘	派遣	有り	無し
	④			招聘	派遣	有り	無し
その他(授業体験、パフォーマンス(案)等あれば)							

※選考結果については2017年2月20日までに、Eメールにてお知らせいたします。

本件の概要及び責務に同意し、2017年度海外高校生交流事業に上記の通り参加申込いたします。

学校名 _____

校長名 _____ (印)